

予防広報発表会の評価者等のコメントについて

*口語体としております

- ・・・評価者
- ・・・アドバイザー（NHK勝呂アナウンサー）

【東署】

●
お疲れ様でした。おかんとおとんという話がでてきて、町内会の身近な人たちと同じようなことの話であり、おそらく自分事として、考えられたのではないかと思います。
ただ聞いていて、少しわからなくなったのは、ろうそくが第3位ですよね。その時に聞いている方で第1, 2位はなにかなあと思って。ろうそくと同じようなことが出てくるのかなあ。というのは自分で、次は気づくということになり、気づく事は大切かなと思うのですが。次は警報器の話。ストーリーがどういった位置づけになっているかなという。最後になってわかるというか、予想とは外れていて、もしかしたらわかりにくかったのかなという感じです。
少し工夫していくと、つながっていくのかなと思いました。

○
お疲れ様でした。非常に楽しく聞かせていただきました。非常に楽しいからだからこそなんですけれども、言葉選びをどうするのかなっていうところですけど、対象者に合わせて言葉を選んでいくと、より聞いている人に言葉が入っていくかなと思います。対象に合わせた言葉を探す。例えば、建物火災は建物の火災なんでしょうけれども、住宅での火災とか、家が燃えてしまったとか、そういう言葉選びをすれば浸透するものがあるのかなと思いました。また、物を使ってはいけないう事だったんですけれども、ポケとおさえるところがあっておさえのところは、やはり聞かせなければならぬので。伝えるときには文字を提示して伝えるとより伝えやすいのかなと思いました。

【中署】

●
お疲れ様でした。最初の組とはちょっと違う印象を持ちました。おそらく、本当だったらきっと、PowerPointとか使いながらしたいのかなと思いました。そういったものがありながら、聞いている方はわかりやすく触れるだろうし、問いかけも、活用していけるのかなと思いながら聞かせていただきました。わりと情報を盛り込んでいることもあったので情報を詰め込みすぎずに伝えればいいのかと思いました。

○
私は、公開番組とかでお客さんがいるときに、お客さんに語りかけるというか、テーマもすごく多いのでわかりやすくする一方で、お客さんがどれだけついていけているのかなあという所を、参加している人の顔を見ているとわかるんですよ。例えばついてきていないなあ、とか。表情を見ながら、先ほど語りかけていましたが、本来は公民館の方と参加者の声とかがあると思います。それを聞きながら次の情報へ移行するというのを考えながら話していくとより伝わると感

じました。

【北署】

●
私は、一人暮らしなんですね、その時にやっぱり、火事に気づいて避難はねえ。特に2階で寝ているので火事が起きたらどうしようと思います。浴室で、1人で女性ですから、いつも思います。その時に火事があったらどうしようとかね。常に思いながら暮らしています。あといろいろやっているのも物もかなり多いです。何でも、片付けをしようとしております。

○
やりとり形式はわかりやすくお聞かせ頂きました。放送でも最近、アナウンサーやディレクターでも実際に取材をした人がプレゼンすることが比較的多くあります。そこで自分が体験し、調べた内容を話す。やっぱり、せっかくなので実際に現場を知っていらっしゃる強みがあるので、それを含めながら、ショッキングになってしまう所もあるかと思いますが、どこまで盛り込むかなど、ご自身で考えながら体験談をお話していただければより惹きつける力になると思います。

【南署】

●
話をされる、スピードはすごく聞きやすいスピードだと。大きさも。プラス、やはり会場の周りを見ながら今の人を想定しながら話をされているっていうのは伝わってきましたので、非常に良かったと思います。ただ、やはり対象者は子供から年配の方まで居られるということで言葉のレベルをどこまで下げるのかというところがどっちかって思いますし、もう少し伝えたいことには強弱をつけていくと良いと思いました。

○
一人ひとりに目を合わせようとして、目を合わせてくれています。素晴らしいなと思って見ておりました。その一方で、目を合わせ、伝えようとするのに意識がいった、どこを読んでいるのか見失うことが何度かあったように思います。話す人が迷ってしまうと聞いている方は不安になってしまうので、嘘でもって言ったら語弊がありますが、自信満々で話をするというところと、メモ書きも細かく書かれているかもしれませんが、頭の中には、現場での経験などの話があると思うので、必要な情報だけを箇条書きとかにしておく、自分の言う語尾などに引っ張られず、話を進めていけることもあるかと思います。いろいろチャレンジしていければと思います。

【西署】

●
高齢者の人でも子供でもわかりやすかったです。内容としましては初期消火とか、火事を起こさないこと。避難前の行動がわかりました。大変わかりやすかったと思います。

○

お疲れ様でした。ちょっとした笑いを誘いながら楽しく聞かせていただきました。ただ内容の部分ではないのですが、知っている人、教える人と教わる人といった設定がよくあると思いますよ。その時に見ている人に対しての違和感は割と重要で、最初聞いている時に、この知らない人は一般市民であると思っていました。そしたら途中からは消防士なんだと。消防士のくだりもウフと笑えるのですが、果たしてこっちはどの立場を取るのか、それを伝えておけば中身はより伝わりやすくなるんじゃないかなと思いました。

【総括】

○

ありがとうございました。皆さんスピードとか「間」とか全く問題ありませんでした。迷ったときは職場の人もいますが、何も聞いてないプレゼンの内容について知らない家族とか友達に聞いてもよりわかるかなあと思いました。あと今回はキーワードが3つありましたが、生の経験が強みだと思いますので、データを伝えつつ、経験や事例を話すことでより関心をもってくれると思います。感じた様子とか、われわれは4～5分位の番組を作成する中で、伝える事は1つといわれるほど、お客さんはついていけないといいます。今回は3つあったので仕方がないですが、そういったことを考えると今回は初期消火について伝えたいとか、発生原因について伝えたいとか、1つの切り口を明確にもってそれに付随して、1つはデータ、1つは経験とかで聞いている人に伝えていかないといけないと思いました。

●

お疲れ様でした。聞かせていただきました。いろいろと制限がある中での、それぞれ皆さんの考えということで、どうすれば伝わるかを考えていただけたのは素晴らしいことだと思います。このような場を用意されたのも素晴らしいと思います。伝える相手がわかるのであれば、これを普段の取組として、使える物は使っていただき、それで、より分かりやすく伝えていただければと思います。一方で、聞く側としては、へえーと思うことは伝わるので、これがデータなのか事例なのかはわかりませんが、そういったへえーというのを内容に落とし込んでいただければ、それを聞くわれわれは、自分のこととして聞けます。新しい情報をいただきたいと思っておりますので、これからも皆さんのご活躍を期待させていただきます。